

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙「みらい」
NO. 4615
26年1月23日(金)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

郵政ユニオン長崎 2026年新春旗開き

おはようございます。
インフルエンザ感染が止まりません。欠区・減区を余儀なくされる日もあります。マスクの着用、手洗い・うがいなど感染対策に努めましょう。

1月17日(土)、支部は「郵政ユニオン長崎2026新春旗開き」を開催しました。



旗開きは、向井書記長の司会でスタートしました。

主催者挨拶で、山田支部長が「職場に目を向けると、昨年、我々の会社は不祥事続きで不適切な呼称では、連日テレビや新聞などで報道され、周囲からも心配される始末となりました。不適切な呼称でトラブクが使用点呼問題で外部委託の費用は年65億円とも言われ、今後赤字が続くと予想されます。年賀しまいが加速し、郵便も減り続けているなど収入が減るなか、会社はコスト削減、超勤抑制の圧力をかけ始めています。職場は人手不足で非正規社員を募集してもなかなか応募がありません。しかし、職場が厳しいときこそ我々郵政ユニオンの出番だと思っています。

26春闘では会社からの厳しい回答が予想されます。本部主導のもとストライキを視野にいれて交渉していきます。」と挨拶しました。

続いて来賓挨拶では長崎地区労加世田田書記長、長崎県労連里副議長、九州労金長崎支店貴戸次長、新社会党長崎県本部荒木書記長の4名の方に挨拶をいただきました。

また、坂本浩長崎県議会議員からはお祝いのメッセージを頂きました。紙面を借りて御礼申し上げます。

続いて、佐田副支部長が乾杯の発声を行い歓談へと移りました。

支部旗開きに関しては執行部で話し合い、料理から飲み物まで自分たちで準備して会場に持ち込む形をとっています。年末からインフルエンザが流行していたこともあり、きちんと準備できるか不安でしたが、組合員が協力して役割分担を行い参加者に提供することができました。



歓談中には、長崎バスユニオン林委員長、市職労増本委員長など、地域の仲間や退職者の方々からも挨拶をいただきました。

た。その他にも現役組合員の紹介などもあり、参加者は箸を置き、それぞれの挨拶に耳を傾けていました。



ました。

また、旗開き恒例のじゃんけん大会では、執戦が繰り広げられました。勝ち残った10名がお菓子をゲットし、大いに盛り上がりました。

歓談スタートからあつという間に2時間が過ぎ、お開きの時間となりました。最後は山田支部長の団結ガンバローで締めくくり、参加者全員で記念撮影を行いました。

来年も開催する事を参加者にお約束して「郵政ユニオン長崎2026春旗開き」は閉会しました。

守られない

休憩時間

あなたの周りに休憩開始時刻に帰局していないのに、午後の作業開始時には順立てをしている社員はいませんか。

私は12時45分に組合事務所に行きますが、3集のバイクが12時45分過ぎに地下に入っていくのを見ます。先日、とある社員に休憩時間を1時間行くように注意しました。何故、休憩に1時間行かないのでしょうか？

「点呼のカメラに1時間休憩に行っていないのが映っていますよ。」
管理者・役職者もずっと勤務時間管理をしているわけにはいかないでしょう。職場にある多くの防犯カメラ。勤務時間管理に活用しても良いのではないのでしょうか



期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。
1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎の
ホームページはこちら



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

ゆげ、均等待遇、なげん差別。

ユニオンは労契法裁判に勝利するぞ！